フリゴ北港(舞洲)物流センター外観

株式会社フリゴ 北港(舞洲)物流センタ

社は冷凍野菜の輸入啓社

する。今後は関西商圏に

の保管能力を有

センター合計で7万3千 物流センターを構え、

るのは本社直結の「北港

情報を一元管理している 術)システムで各部門の

フリゴの物流センター

(舞洲)物流センター」

同センターは近畿圏

制を形作っている象徴的 集約したワンストップ体

取の台数が増えるとトラ ら積み込みとなるため引 倉庫側の作業を待ってか つとなっていた。また、 長時間の残業の原因の一

う 「自動倉庫の導入前は月 の るようだ。西願社長は の る効果が鮮明に表れてい

間残業時間が平均8時間

な物流センターと言え

を増やした。同社の倉庫 商材であった輸入冷凍野 冷凍野菜を当社の加工場 外からバルクで調達した 拡大を志向している。 とどまらず、 層の業務効率化と事業

庫として利用顧客が多

同社最大2万8千8 ,の収容能力があ

庫を新築し、荷役作業の枚のF級パレット自動倉

国際空港との中間に位置

ター

因ともなっていた。 くなるという悪循環の原

利便性の高い物流倉

収容枚数4千294

最大能力毎時200

庫を新設したという。

している。神戸港と関西

北港(舞洲)物流セン

る大阪北港地区・舞州の の物流拠点として機能す

果物の凍結や簡単な加 は商品の販売など本業に

到着が遅れると、 だこの場合、 作業を実施していた。 トラックの



立体的な低温保管を行う 自動倉庫の内部

自動倉庫からの入出荷

自動倉庫用の冷凍機

を事業化する中で、ワン 「お客様とお話をする

形ができた。当社にお任

終えると出荷可能なパレ 立てて順次行う。作業を

ジニアを採用し開発を進 する方針を掲げ既にプロ

一であり、同センターのが、同システムのメーカーのもうすぐ2年が経過する

もらい、 一緒

冷却

冷凍機の排熱も利用できる24時間連続運転可能な高効率環境配慮型システムです

NH3・CO2・R404A・R410A等様々な冷媒にも対応しております

やシステムエン

り離し、荷役作業を計画 クの到着するタイミング

現するシステムを内製化

層の省エネにも

を語る。同社は今後、

ょ

ができている」と手応え 20時間程度に留めること 導入後の約4年間は平均 を超える月もあったが、

面側から深々と

理の観点と重複作業を避 社の倉庫作業者は温度管 効率化を図った。自動倉

納。その後、トラックが 出荷していく仕組みを構 動倉庫からトラックへと トを自動倉庫に一度格 センターのトラ

種類と冷媒を漏らない対応も重要だが、冷媒の一た。自然冷媒化など環境

社名の

「株式会社フリ

新築移転した。 此花区北港に本社工場を

**柏保管などで冷蔵倉庫業** 

川では地場産業で盛んだ

収・合併)で傘下に加え、

97年には堺市の本社工場

現在の大阪

蔵倉庫業者をM&A

6年に堺市内の冷 大阪への営業拡大

こうした中、

同社は大阪を中

大阪での新規顧

91年に本社を大阪府堺市

阪へ進出。営業拡大と事業の多角化を図ってきた。現在は冷凍野菜や冷凍 集運搬)といった各種サービスをワンストップで提供する食品総合サービ 通)で求められる食品の配送・通関保税・食品加工・廃棄(産業廃棄物収 食品の荷扱いを中心に、利便性と柔軟性に富むサー **冶蔵倉庫業を主業とするフリゴ(社長=西願敦司氏、** 本社の物流センターでは4年前にパレット自動倉庫を また2年前に冷蔵倉庫 本社・大阪市此花





温流通サービスをワンストップで 的な取引関係を構築でき のお節料理の重箱への箱 チキンの解凍や、 今回取材訪問した年末 西願社長はそ ツ 動 倉庫を活用

加工業を営んでいた西。大阪府泉佐野市で繊



敦司社長



NH<sub>3</sub>/CO<sub>2</sub>採用の

熱空間を創出する。 がら、効率の良い冷 消費電力を削減しな なく「下吹き」を取一般的な横吹きでは

を絞り、クーラー下部からに向かう自然対流を

間も格段に減った。

特に働き方改革に対す

一長は「設備更つ。佐々木努セ

の一助にもなる」と説明
・ 五塡で済む。温暖化対策
・ 五塡で済む。温暖化対策

作業を効率化

また二次側のユニ

1921年、国産第一号のアンモニア冷凍機を世に送り出してから2021年で100周年を迎えます これまでも、そして、これからも時代の要請に誠実に向き合って参ります

## 陽圧除湿空調システム

DEMS ]



## 安全で高効率の自然冷媒冷却システム 「NiCRES 」



長谷川鉄工株式会社



